

Coffee aid Day Kumamoto 2025 報告書

【開催日時】2025年12月6日（土）11:00~17:00

【開催場所】熊本市桜町3番10号サクラマチクマモト1F メインエントランス

【来場者数】約3,000人

【展示パネル数】犯罪被害者紹介パネル 24枚

【後援】府中刑務所、熊本刑務所、熊本保護観察所、熊本県警察、熊本市、（公社）被害者支援都民センター、（公社）くまもと被害者支援センター

【協賛】サクラマチクマモト、（株）山鹿蒸溜所、（株）熊本交通運輸、（有）八代ドライビングスクール、Calmest Coffee Shop

【協力】スターバックスコーヒージャパン（株）、崇城大学芸術学部デザイン学科奥田ゼミ、熊本大学教育学部松永拓巳ゼミ、熊本大學珈琲研究會、犯罪被害者支援大学生ボランティア「くすの輪」、玉名高等学校、第一高等学校、東稜高等学校、九州学院ボランティア部、第一高校放送部OG、森澤企画研究舎、佐藤花代子、Calmest カメラ部の皆さん

趣旨

2021年より始まった「Coffee aid」のチャリティーイベントは、コーヒーを通して犯罪被害者支援と社会貢献を行う活動です。

2021、2022年は熊本で開催し、その後の2023年、2024年は東京で開催することになったことから、地元でも再開してもらいたいという声を多く受けて、「Coffee aid Day Kumamoto」として2024年11月に熊本で開催することになりました。

今回は、「熊本から犯罪を減らすプロジェクト」をメインテーマとした企画として、犯罪被害を受けた方々の遺族からのメッセージを掲載した紹介パネルの展示をメインに、コーヒーの無料提供やステージイベントも企し、多くの方に楽しみながら犯罪被害者支援について理解してもらう、「命の大切さ」について感じてもらうイベントにすることにしております。

加えて、これから社会を担っていく高校生や大学生を育成するため、「若い力」に犯罪被害者支援の活動に携わってもらうことにしております。

概要

昨年に引き続き開催することになった犯罪被害者支援のイベントは、サクラマチクマモトの協力により1階のメインエンランスというオープンなスペースでの開催となりました。

会場でのサインや装飾は、崇城大学芸術学部デザイン学科の奥田ゼミに担当していただきました。

キッズコーナーでは、「くすの輪」に缶バッヂの製作やガチャなど、熊大教育学部の学生による似顔絵、警察官や刑務官の制服体験を企画してもらいました。

また、今回はひごまる、ワルモン、ゆっぴー、厚生ペンギンホゴちゃんのゆるキャラ4人も集結してくれました。

ステージイベントでは、後援機関と学生によるディスカッションやコーヒーのドリップ大会など終始楽しい雰囲気で来場の方々が楽しめました。今回は、若者に任せたい思いからメインMCは現役大学生の2人にお願いしました。



コーヒーコーナーでは、スターバックスコーヒーと Calmest Coffee Shop の協力により無料でコーヒーを提供していただき、Calmest Coffee Shop のブースでは熊本大學珈琲研究會の面々がコーヒーを淹れ続けて、延べ 2,700 杯のコーヒーを提供することができました。来場者数は、あくまで推計値ですが 3,000 人を

超える方々に来場していただき、その方々がコーヒーを片手に犯罪被害者の紹介パネルや、刑務所の雑居房の模型の展示や各後援機関の施策の紹介パネルなどを興味深げに見入っておられました。そこでは、府中刑務所の受刑者が作ったマグカップやメモ帳が無償で配布されました。



チャリティー販売コーナーでは、崇城大学芸術学部の学生が作ったコーヒーキャンドルやオーナメント、玉名高校生が作った TAMACOFFEE (ドリップバッグ)、今年は第一高校も参戦して IKKOFFEE (ドリップバッグ)、リサファームからは無農薬の晩白柚を使ったリサジャム、山鹿蒸溜所からはコーヒー樽で熟成したコーヒー豆を使ったバレルエイジドコーヒーを提供していただき、受刑者が食べる監獄パンも販売し、その売り上げは犯罪被害者支援に役立てることになっております。

今回は、高校生 29 人、大学生（院生を含む）28 人がボランティアとして参加しており、会場の運営に協力していただいたことに併せて、それぞれが犯罪被害者支援や犯罪のない街づくりについて感じてもらえたものと思っております。



また、普段馴染みの少ない府中刑務所と熊本刑務所や熊本保護観察所、熊本県警察、熊本市、被害者支援センター等の行政及び関連機関にも横断的に協力してもらい、これまでにない充実した犯罪被害者支援の啓発イベントになりました。



「熊本から犯罪を減らすプロジェクト」は、一見すると犯罪被害者支援とは無関係に思え、楽しいイベントは犯罪被害者支援にそぐわないと思われる方もいますが、私たちは次のように考えます。

過失事故を含めた犯罪を起こせば、そこには被害者と加害者が発生することになり、彼らを取り巻く関係者も多く発生することになります。また、悪意のない犯罪であっても、一旦起こしてしまえば加害者というレッテルは貼られたままという現実もあります。刑務所に入って罪を償っても、そのような現実に直面して再犯に繋がってしまうことがあります。

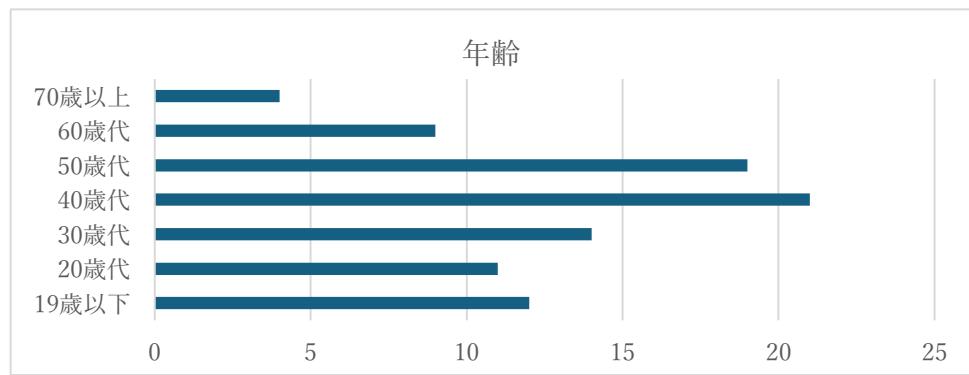
では、どうするか？若者に「命の大切さ」や罪を犯すことの不利益さを理解させることで、犯罪は減っていくものと考えております。

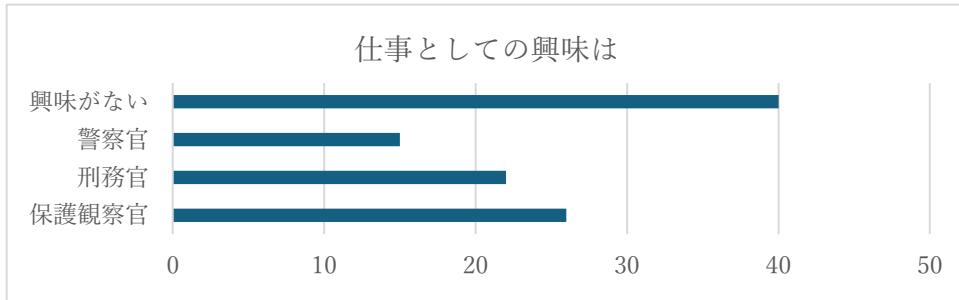
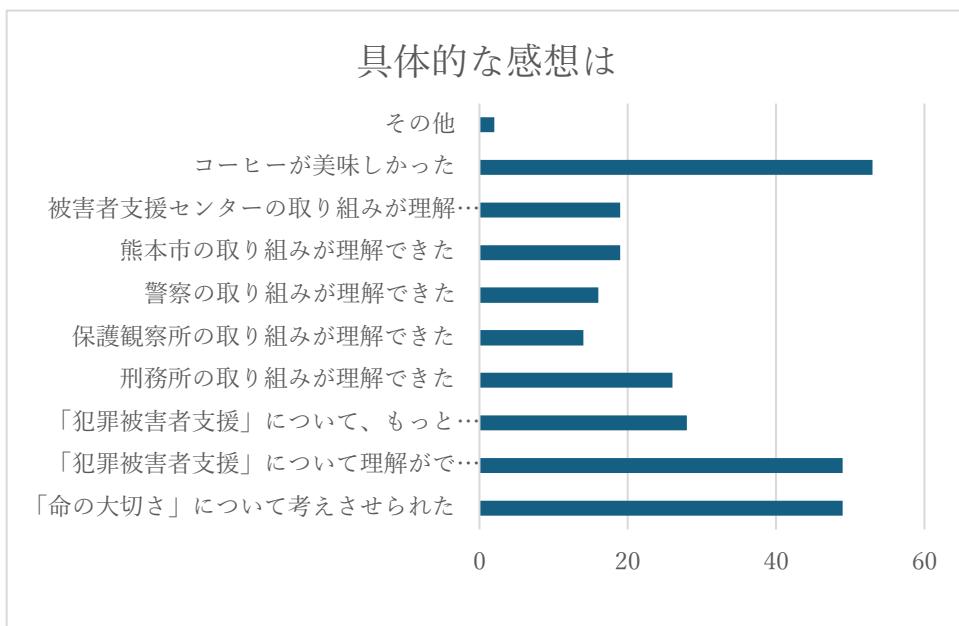
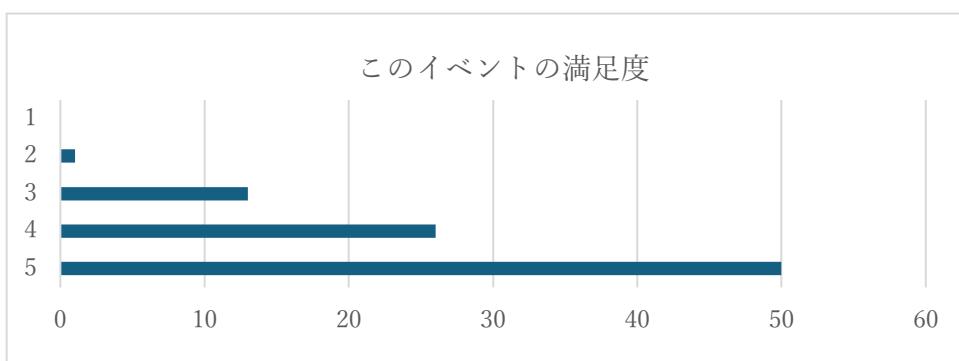
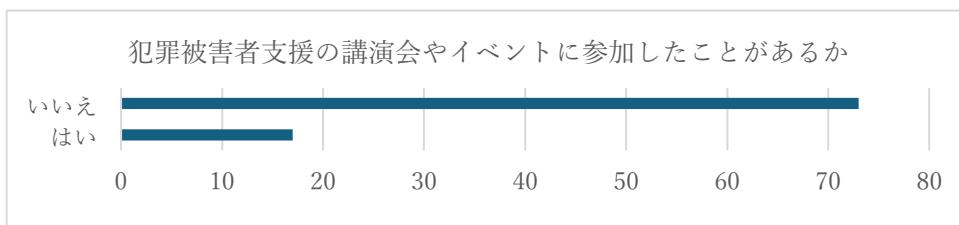
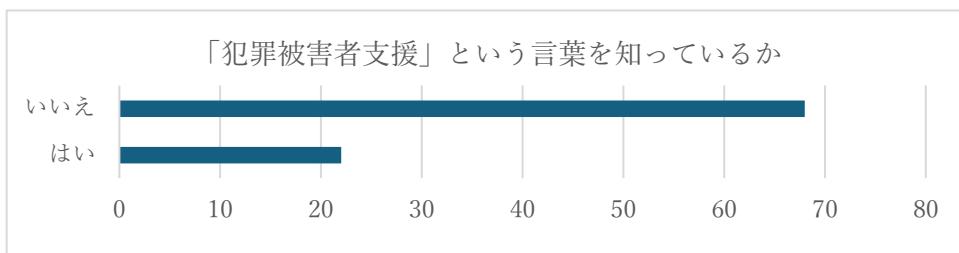


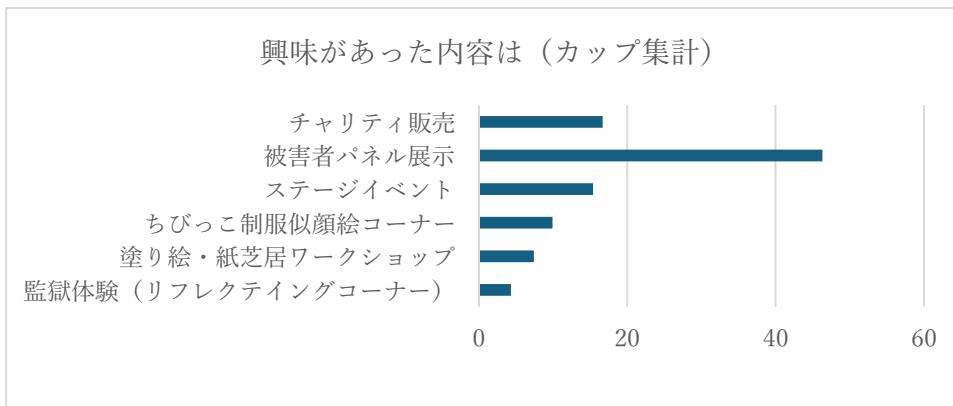
そのためには、犯罪被害者の関係者しか集うことのないイベントではなく、誰でも気軽に参加でき、楽しみの中にも考えさせられるような啓発イベントが重要になってきます。今回は、来場者にアンケートを取って来場のきっかけが「通りすがり」という方の割合が70%を超えていました。その方に、犯罪を起こすことがどういうことに繋がっていくのか、犯罪を受けければどのような未来があるのかを感じていただけたものと考えております。

加えて、ボランティアで参加した高校生や大学生の諸君が犯罪を減らすことの重要性を理解していただいたものと思います。

アンケート結果







取り上げられた報道

KKT、読売新聞（特集で予定）

事業費総額 422 千円

これからも、このような周知啓発イベントを、ささやかに続けていこうと思っておりますので引き続きご協力をお願いいたします。



2025年12月

NPO 法人 Coffeeaid2021 理事長 深迫祥子